

展示公開施設の館内環境調査報告

— 平成12年度 —

石崎 武志・佐野 千絵・三浦 定俊

保存科学部は博物館・美術館・資料館などの文化財公開施設で、借用などの移動を伴う文化財等の展示があるときに、当該施設の館内環境調査を文化庁美術学芸課と協力して行っている。その調査については以前述べたが¹⁾、平成5年度からは各館ごとに館の規模や施工時期などについて、あらかじめ定まったフォーマットに従って整理している。平成5年度～11年度についてはすでに報告したので^{2～8)}、ここでは、平成12年度に行った館内環境調査に関して概括する。集計方法などについては、前報と同じである^{2～8)}。相談件数および相談件数の経時変化、相談館の地域分布、開催時期、借用計画をたてた時期、コンクリート打設完了から開館までの期間について図示する(図1～6)。また、平成12年度に報告書を書いた30館の基礎データを表1に記す。

表1 調査館の基礎データ

No.	着工 打設完了	コンクリート 打設完了	竣工	開館	借用時期	延べ床面積 (m ²)	展示面積 (m ²)	収蔵庫面積 (m ²)	博・美	運営団体
1.	1996.10	1997.8	1998.6	1999.3	2000.2	12,500	3,862	1,522	美	県
2.	1998	1998.6	1998.10	1999.4	2000.4	1,144	227	115	博	市
3.	1997.6	1997.10	1998.7	1998.12	2000.6	2,820	562	524	博	市
4.	1998.10	1999.3	1999.10	2000.4	2000.5	4,156	323	1,389	博	美
5.	1997.10	1999.1	1999.10	2000.8	2001.3	10,000	不明	不明	博	県
6.	1992.10	1994.7	1994.9	1995.2	2000.5	1,332	355	590	博	県
7.	1997.12	1998.3	1999.11	2000.3	2000.5	1,608	不明	不明	博	その他
8.	不明	不明	1997	1998.3	2000.9	1,370	不明	不明	美	その他
9.	1997.10	1998.11	2000.3	2000.10	2000.9	4,149	1,772	207	博	その他
10.	1997.6*)	1998.10	1998.9*)	1999.2	2000.7	3,614	1,109	823	博	市
11.	1989.12	不明	1990.8	1991.3	2000.6	3,402	599	不明	美	市
12.	1998.10	1999.4	2000.4	2000.7	2000.7	2,937	664	440	博	市
13.	1999.5	1999.9	2000.7	2000	2000.7	2,832	不明	不明	博	その他
14.	1997.6*)	1997.12	1999.2*)	1999.5*)	2000.6	2,032	807	675	博	町
15.	1993.12	不明	1994.8	不明	2000.8	301	不明	不明	博	市
16.	1998.12	1999.12	2000.3	2000.11	2000.9	1,962	367	149	美	町
17.	1995.12*)	1983.3	1996.9*)	1983.10	2000.9	15,985	5,514	1,268	博	県
18.	1998.12	1999.5	2000.3	2000.4	2000.10	2,600	456	321	博	その他
19.	1991.9	不明	1994.9	1995.3	2000.9	33,515	7,427	1,552	博	都
20.	1988.6*)	1988.10	1989.3*)	1990.4	2000.10	651	183	184	博	その他
21.	不明	不明	不明	不明	2000.10	不明	不明	不明	博	その他
22.	1996.6	1997.3	1997.10	1997.11	2000.12	274	86	不明	博	町
23.	1997.12	1990.5	1990.10	1991.3	2001.1	7,181	2,000	1,100	美	市
24.	1997.12	1999.5	2000.6	2000.10	2000.8	7,794	1,459	811	美	市
25.	1991.10	不明	1992.12	1993.3	2001.3	不明	160	472	博	都
26.	不明	2001.1	不明	1998.11	2000.10	不明	不明	不明	博	市
27.	1996.9	1999.5	1999.10	2001.4	2001.4	19,509	2,022	287	博	市
28.	1995	1998.6	1999.6	2001.3	2001.3	4,949	2,034	216	博	府
29.	1993.7	1994.8	1995.11	1995.11	2001.3	9,510	不明	不明	博	市
30.	1990.12	1991.12	1992.6	1992.11	2001.3	6,848	2,265	618	美	市

*)は、増築、改築に関するデータを示す。

1. 相談館全体の傾向

相談件数および相談館数については、図1のとおりである。昨年同様、博物館・美術館の新設そのものの件数は少なくなったが、相談件数は昨年より若干増加して876件であった。

相談館の地域分布は、昨年同様、関東、近畿地方、中部・東海地方の公開施設が多いのに加えて、九州・沖縄の公開施設が増えた点が特徴である（図2）。

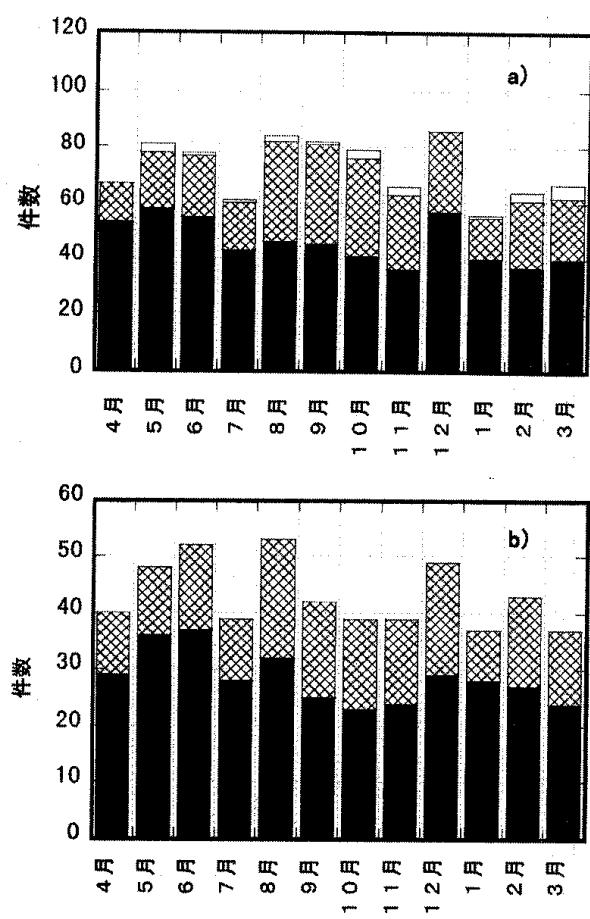


図1 保存環境に関する相談(平成12年度)

(a) 相談件数 (b) 相談館数
■ 美術館 ■ 博物館 □ その他

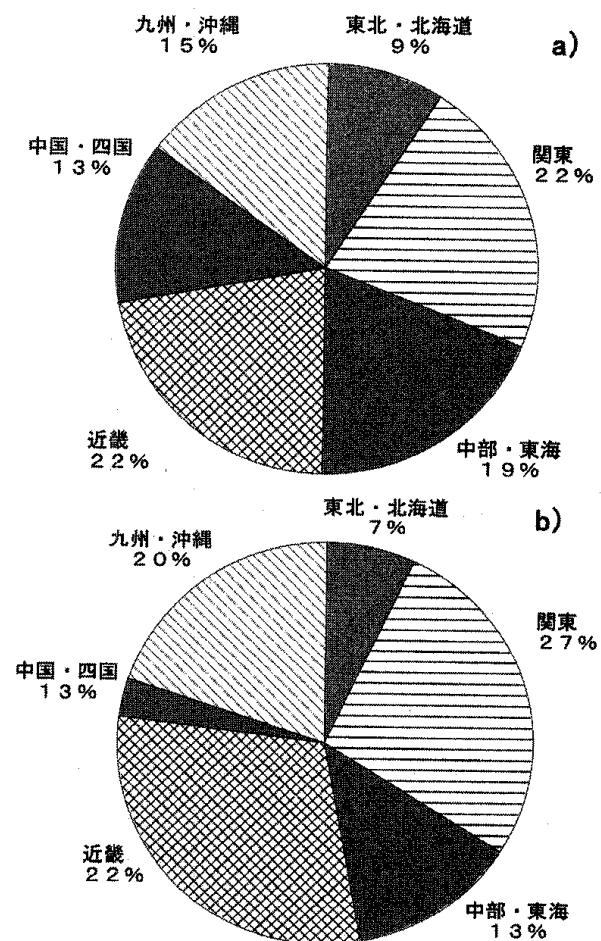


図2 相談館の地域分布(平成12年度)

(a) 相談館全体の地域分布
(b) 平成12年度館内環境調査報告書提出館30館の地域分布

2. 平成12年度館内環境調査報告書提出館30カ所の傾向

借用時期の今年の傾向は、開館から6ヶ月以内の施設が全体の33%，5年以上のものが29%であり、比較的開館後から時間が経過した館での指定品の展示に関する環境調査が増えた事が特徴である（図3）。昨年は、館内環境調査報告館のうち、借用時期が開館より5年以上経った施設はなく、開館が平成10年以降のものが半数以上であった。竣工から開館までの期間は、昨年は平均7.6ヶ月であったが、今年は6.0ヶ月であった（図4）。開館時期については、例年通り、春と秋の3,4月と10,11月に多かった（図5）。コンクリートの打設完了時期から開館まで、短い館では4ヶ月、長い館では31ヶ月であり、平均値は15.4ヶ月であった（図6）。

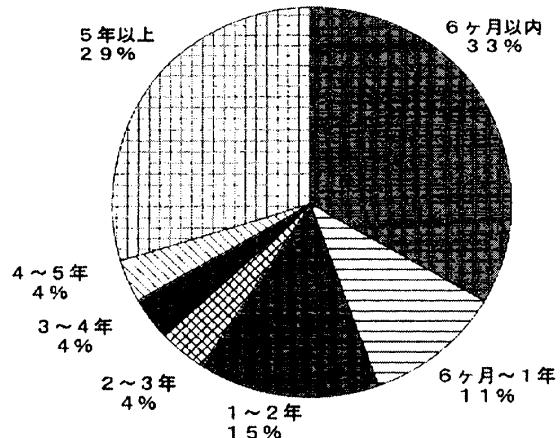


図3 開館から館内環境調査報告書を必要とする資料を借用するまでの期間

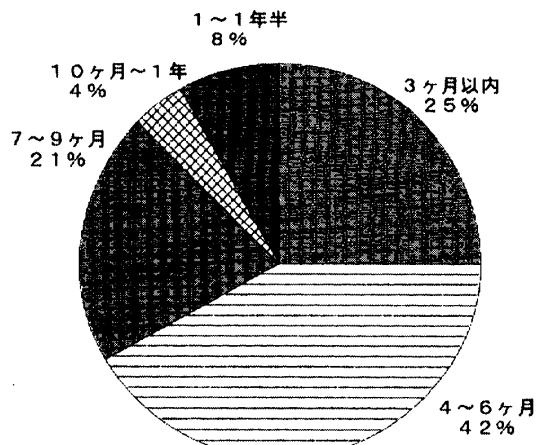


図4 保竣工から開館までの期間

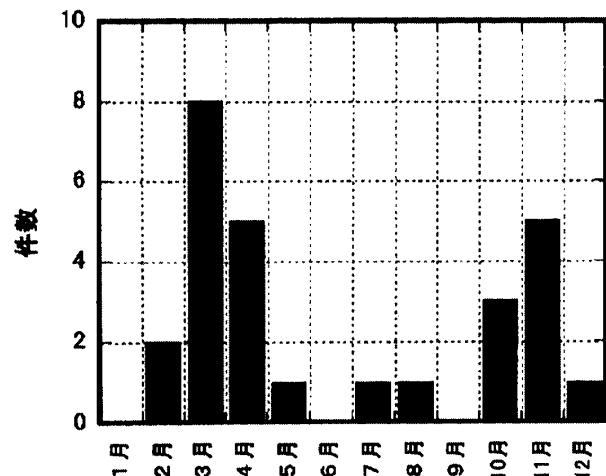


図5 平成12年度館内環境調査報告書提出館の開館月

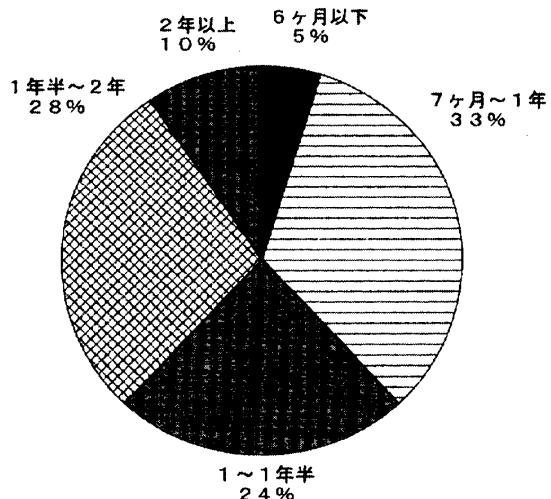


図6 コンクリート打設完了から開館までの期間

3. 考察

平成10年度は、環境調査報告書提出館のうち過去2年間に開館したものが半数以上で、開館後10年以上経過した館は1件のみであった。また、平成11年度も、この傾向が続き、環境調査報告書提出館のうち、開館後5年以上経過した館はなかった。平成12年度は、開館後5年以上経過した館での指定品の展示に関する調査が増えた点が特徴であった。また、本年度も開館後、なるべく早い時期に指定品を展示したいという希望が多かった。そこでは、なるべく短期間に、展示室、収蔵庫の空気環境を正常に持っていくこと、短期間に展示室、収蔵庫の空気環境を正確に測定することなどに関する要請が多かった。

4. 終わりに

最近では、山倉などで保管されてきた曳山や曳舟などの大型の資料や、歴史的に重要な大型の土構造物を博物館で展示、収蔵する試みがなされてきている。これらの展示においては、資料が大きい事、以前保管されていた環境と博物館内が異なる事などが問題となる。文化財の公開促進という観点から今後ともこの様な試みは増えていくものと考えられるが、保存の立場か

らは、この様な環境の変化で文化財にどの様な変化が生じるか、その変化を小さくするために、博物館の環境をどの様に制御しなくていいか等に関して十分な研究が必要である。現在、東京文化財研究所では、大型資料の展示環境に関する基礎的な研究を開始している。今後とも、文化庁の担当者、美術館、博物館の学芸員の方々と、綿密な連絡を取り合って、美術館・博物館の環境調査を進めていく予定である。

引用文献

- 1) 三浦定俊、佐野千絵、石川陸郎：新設博物館・美術館における保存環境調査の実際、月刊文化財（平成5年4月号）、355, 34-42 (1993)
- 2) 佐野千絵、三浦定俊：国指定文化財展示公開施設のシーズニングについて—平成5年度展示施設の館内環境調査から—、月刊文化財（平成7年9月号）、384, 4-11 (1995)
- 3) 佐野千絵、三浦定俊：展示公開施設の館内環境調査報告—平成6—、保存科学、35, 74-79 (1996)
- 4) 佐野千絵、三浦定俊：展示公開施設の館内環境調査報告—平成7—、保存科学、36, 98-103 (1997)
- 5) 佐野千絵、三浦定俊：展示公開施設の館内環境調査報告—平成8—、保存科学、37, 153-157 (1998)
- 6) 佐野千絵、三浦定俊：展示公開施設の館内環境調査報告—平成9—、保存科学、38, 187-191 (1999)
- 7) 石崎武志、佐野千絵、三浦定俊：展示公開施設の館内環境調査報告—平成10—、保存科学、39, 87-90 (2000)
- 8) 石崎武志、佐野千絵、三浦定俊：展示公開施設の館内環境調査報告—平成11—、保存科学、40, 136-140 (2001)

キーワード：博物館(museum)；館内環境(environmental condition)；空気環境(air condition)；温湿度(humiditiy and temperature)

Annual Report on the Inspection of Museum Environment in 2000

Takeshi ISHIZAKI, Chie SANO and Sadatoshi MIURA

The National Research Institute for Cultural Properties, Tokyo, in collaboration with the Agency for Cultural Affairs (Bunkacho) advises museums on how they should design their facilities to provide adequate environment for the exhibition of nationally designated cultural objects. This report shows the results of inspection in 2000.

The number of advice given was 876 in 2000. Results of inspections were reported to 30 museums in 2000 for their exhibitions. Recently, some museums exhibit big historical wheel float (hikiyama) or wheel boats (hikifune) which used to be stored in storage rooms with earthen walls (yamagura). Since environmental conditions such as humidity and temperature are different between the museum and the storage room, it is necessary to evaluate the physical deformation and establish appropriate measures to prevent physical damage to cultural objects. We are now carrying out measurements of environmental conditions and studying their physical effects on cultural properties at several sites.